

Premium

# プラネタリウム番組上映

会場 大垣市サイトピアセンター コスモドーム (学習館1階)



フィンセント・ファン・ゴッホ《ローヌ川の星月夜》(一八八八年)

## ゴッホが描いた星空

上映日時	<b>11:00・14:00上映</b>
	4/13 <sup>月</sup> 5/11 <sup>月</sup> 6/8 <sup>月</sup> 7/13 <sup>月</sup> 9/14 <sup>月</sup>
18:00上映	4/25 <sup>土</sup> 5/23 <sup>土</sup> 6/27 <sup>土</sup> 7/18 <sup>土</sup> 7/25 <sup>土</sup> 8/22 <sup>土</sup> 9/26 <sup>土</sup>

チケット	上映の <b>15分前</b> からコスモドーム受付にて販売
	※販売は当日受付のみ(事前予約不要)
	※団体でのご来場は事前にお問合わせください

入場料	一般：¥300
	高校生以下・大垣市内在住の65歳以上：無料
	※小学3年生以下は保護者同伴必須 ※その他割引あり

問合せ	(公財)大垣市文化事業団 総務事業課 科学展示係
	〒503-0911 岐阜県大垣市室本町5-51
	☎0584-84-2000(9:00~17:00※休館日除く)

星の絵を描いた画家が少ない中、ゴッホは、星や月、金星、太陽などの絵を描きました。ゴッホは、果てしなく広がる空に何を想い、何を託したのでしょうか。ゴッホの絵画と書簡に魅かれた青年は、ゴッホの心に触れたいと、足跡をたどる旅に出るのです。南仏でゴッホが描いた太陽や星空を見上げた時、青年の心に去来するものは何だったのでしょうか。

～ゴッホの心を探る旅に、あなたをご案内いたします～  
 <ゴッホが語る台詞はすべて、書簡の中の一文を用いています>

ゴッホの声：てらそま まさき 青年の声：梶 裕貴  
 ナレーション：榊原良子

監修：大阪大学文学研究科(美術史・アートメディア論)教授 園寺司氏  
 茨城県近代美術館(元茨城県つくば美術館長)舟木 力英氏  
 企画：財団法人つくば科学万博記念財団(つくばエキスポセンター)  
 制作：株式会社イーハトーヴ



主催：公益財団法人 大垣市文化事業団

SUITOPIA CENTER  
 OKAZAKI CITY CULTURAL FOUNDATION